

めに

*全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載されています。次回は7月5日「心臓血管外科」の予定です。

リテーションを
についても掲載

t-PA治療

、脳の血管に小
(血栓)ができ、
に十分な血流が

届かなくなって、手足にし
びれなどが表れる。血栓を、
発症間もない時期に薬剤で
溶かすのがt-PA治療
で、2005年10月に認可
された。治療を受けた患者
の4割が、3か月後にほぼ
後遺症がなく、生活に復帰

できるとされている。
ただし、発症後の時間が
たつと、血栓を溶かした後
に脳出血を起こす危険性が
高まるため、治療が行える
のは発症後3時間以内の患
者に限られる。このため、
迅速な搬送態勢の整備が欠
かせない。

早期リハビリ開始率

治療後に大事をとって寝
たままでいると、かえって

東京

河北総合	294	7	100	12	79
聖路加国際	209	1	62	57	117
日赤医療セ	243	17	47	36	96
慶応大	225	6	48	28	108
都公社荏原	246	9	85	20	80
牧田総合	194	10	100	25	101
東京女子医大東医療セ	156	8	90	60	92
目白	157	2	-	24	125
東邦大医療セ大森	237	1	19	36	30
順天堂大	218	7	94	20	45
公立阿伎留医療セ	220	16	100	8	44
旗の台脳神経外科	167	1	-	40	42
東京警察	178	3	75	23	45
三宿	144	44	100	25	76
東京労災	156	12	90	13	72
都公社大久保	158	11	67	7	53
東京医大八王子医療セ	125	5	65	30	53
慈恵医大	121	3	32	42	44
日本医大多摩永山	130	7	-	29	35
東京医科歯科大	108	5	31	39	42
江戸川	170	8	95	0	13
虎の門	133	0	-	6	33
都公社豊島	82	3	35	14	59
東京大	96	0	15	22	27
東京女子医大	44	2	86	12	59

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター。「-」は未回答または不明